

私たちが望む狭山市の将来像

これからのまちづくりは

私たちの手で・みんなの手で

市長 皆さん、明けましておめでと
うございます。新年を迎え、気持ちも
新たに、狭山を元気にするための施
策・課題に取り組んでいきたいと思
います。さて今日は、新春の特別企画
として、今の狭山とこれからの狭山を
支える皆さんとお話をしたいと考え
5名の方にお集まりいただきました。
皆さんどうぞよろしくお願ひします。

仕事・家庭・社会で感じる 欠かせない人とのつながり

市長 皆さんは、職種もさまざま
仕事に就いてから約10年が経過した
方々と伺いましたが、まずは横山さ
ん、仕事や生活の中で、「日ごろ感じ
ていることなどを聞かせてください。」

横山 私は両親と一緒に、農業に就
いています。最近、地球の温暖化が
報道されていますが、まさにそれを
肌で感じています。冬でも暖かいで
すし、雨は一度に降る「大雨」。年々、
作物を育てにくい環境になっている
気がします。また日々の生活では昔
は起こらなかったような事件が多い
ことに驚きます。

市長 天候も社会も、少しずつ変わ
ってきたのでしょうか。

荒井 私は、仕事と家事、そして育児
をこなす毎日、常に時間に追われ
ている感じがしています。その中で
一番気にかかるのは、子どもと接す

る時間がどうしても少なくなっ
てまい、寂しい思いをさせているので
は、ということ。育児と仕事を
両立させるのは本当に大変だと感じ
ています。数か月後には、もう一人家
族が増えるので、この先、仕事を続け
るかどうかが、迷つこともあります。

市長 確かに、仕事を続けながらの
育児は大変でしょう。お子さんが小
さければなおさら、自分の時間を持
つのは難しいかもしれませんが、それ
では黒川さんはいかがでしょう。

黒川 私は昨年、青年会議所と消防
団に入りました。それがきっかけで
仲間も増え、ボランティア活動など
に参加しているうち、狭山に住んで
いるんだ」という実感が湧いてきた
気がして、毎日がとても充実してい
ます。仕事やプライベートのことを
相談し合える仲間と一緒に、狭山を

元気にしていきたいと考えています。

市長 それは非常にありがたいこ
見です。地域に根ざしてきたとい
う実感なのかもしれませんね。長谷
川さんはいかがですか。

長谷川 私は狭山に勤めて8年めを
迎え、気がついたら、「現場では一番
年上」として、責任を感じる立場・指
導する立場になっていました。戸惑
いなども多くありますが、周囲に気
を配りながら、向上心を忘れず前進
していきたいと思っています。

市長 職場での指導者の立場といえ
ば大窪さんも同じだと思いますが。
大窪 はい、そうですね。私が最近
感じるのは、個々の趣味が多くなっ
たことでしょうか。悪いことではな
いのですが、その分、職場や職場を離
れたときの集団行動ができない人も
増えたと感じています。また、私には
2人の小学生がいますが、自分の子
どものころにはなかった危険が多く



狭山市長・仲川幸成



大窪幹夫さん / 38歳・南入曾在住
本田技研工業(株)埼玉製作所に勤務。完成車組
立製造技術主任。妻と子ども2人の4人家族



荒井敦子さん / 31歳・広瀬在住
飯能信用金庫仏子支店に勤務。夫と子どもの3人家族。5月に第2子を出産予定



黒川 進さん / 33歳・富士見在住
運送会社を経営。青年会議所の会員として活動。両親、妻、子ども3人の2世代7人家族



横山裕一さん / 31歳・堀兼在住
農業に従事。農業青年会議所の会員として活動。両親、祖母、姉、妻、子どもの3世代7人家族

長谷川真紀さん / 30歳・毛呂山町在住
（福）つつじの園に勤務。社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員の資格を有する。両親、祖母、弟の5人家族

充実感を与えてくれるのは仕事…そして家族

市長 それでは、働く喜びや厳しさ、そして、生きる喜びや充実感は、どんなときに感じますか。仕事や地域活動など、これまでの経験からお聞かせください。

横山 野菜を育てて収穫することが、仕事で感じる喜びであり、楽しみでもあります。家の前に直売所を出しています。何度か買いに来てくれた人から、「野菜を、おいしい」と褒めてもらえるのが、嬉しい瞬間です。働けば働いただけの見返りもあり、やりがいも感じますが、もう一つの生きる喜びを与えてくれる自分の家庭…休みを作って家族との時間を、と

思ったと思います。子どもは防犯ベールを携帯していますし…。治安が悪くなったとは思いませんが、自分の身は自分で守ることを教えなくてはいけないと感じています。

市長 なるほど。私はこれまで、ずっと集団の中で活動してきました。しかし、近ごろは個人的な考え方が

なってきたのではないのでしょうか。地域や社会で、人は一人では生きていけません。もう一度、隣同士が手をつないで、みんなが社会をつくっていく時代になったと思います。だからこそ私は、「元氣な狭山をみんなで作る」を基本理念に、さまざまな施策へ取り組んでいるのです。

市長 それは、働く喜びや厳しさ、そして、生きる喜びや充実感は、どんなときに感じますか。仕事や地域活動など、これまでの経験からお聞かせください。

横山 野菜を育てて収穫することが、仕事で感じる喜びであり、楽しみでもあります。家の前に直売所を出しています。何度か買いに来てくれた人から、「野菜を、おいしい」と褒めてもらえるのが、嬉しい瞬間です。働けば働いただけの見返りもあり、やりがいも感じますが、もう一つの生きる喜びを与えてくれる自分の家庭…休みを作って家族との時間を、と

思ったと思います。子どもは防犯ベールを携帯していますし…。治安が悪くなったとは思いませんが、自分の身は自分で守ることを教えなくてはいけないと感じています。

市長 なるほど。私はこれまで、ずっと集団の中で活動してきました。しかし、近ごろは個人的な考え方が

市長 それは、働く喜びや厳しさ、そして、生きる喜びや充実感は、どんなときに感じますか。仕事や地域活動など、これまでの経験からお聞かせください。

横山 野菜を育てて収穫することが、仕事で感じる喜びであり、楽しみでもあります。家の前に直売所を出しています。何度か買いに来てくれた人から、「野菜を、おいしい」と褒めてもらえるのが、嬉しい瞬間です。働けば働いただけの見返りもあり、やりがいも感じますが、もう一つの生きる喜びを与えてくれる自分の家庭…休みを作って家族との時間を、と

市長 それは、働く喜びや厳しさ、そして、生きる喜びや充実感は、どんなときに感じますか。仕事や地域活動など、これまでの経験からお聞かせください。

横山 野菜を育てて収穫することが、仕事で感じる喜びであり、楽しみでもあります。家の前に直売所を出しています。何度か買いに来てくれた人から、「野菜を、おいしい」と褒めてもらえるのが、嬉しい瞬間です。働けば働いただけの見返りもあり、やりがいも感じますが、もう一つの生きる喜びを与えてくれる自分の家庭…休みを作って家族との時間を、と



「緑と健康で豊かな文化都市」が狭山市の目指す将来像。その狭山を支えているのは、子どもから高齢者までの市民の皆さんです

た気持ちも解けていくのが分かります。また、私が何よりも嬉しいのは、市が進めようとする事業に、皆さんが協力してくれるとき。これからは市と市民皆さんが協働して物事を進めていかななくてはならない時代で

魅力ある狭山市のために 自然と未来の共存を

市長 それでは皆さん、狭山市の魅力はどこにあると思いますか。

横山 自然が多いことが魅力ではないでしょうか。何といても、春に咲く狭山稲荷山公園の桜がいいですね。また、智光山公園も好きです。

荒井 私も同感です。公園へは家族で出掛けます。特にこども動物園の「ふれあい広場」は、小動物と遊べるので子どもも大喜びです。

大窪 自然が多いととても心が落ち着きますよね。それも無造作に残された自然ではなく、智光山公園などきちんと整備されている。利用しやすく素晴らしいですね。
長谷川 私は車通勤をしています。新富士見橋から見える景色が大好きです。今も残る多くの自然が素晴らしいと思います。
黒川 自然が多いのも魅

す。それを理解してもらえたとき、そして若い人たちが活力ある姿を私に見せてくれたときに、とても喜びを感じ、同時に感謝の気持ちでいっぱいになります。私の支えは家族であり、まさに市民の皆さんなのです。

力ですが、狭山からは、特急を使えば40分くらいで都内に出られますし、関越道も近く、圏央道がつながれば中央道も近くなりますから、交通の利便性が高いのが魅力だと思います。

市長 皆さんが、県内一の公園面積を誇る狭山市を認識してくれていたことに、喜びを感じます。また、私の母校の校歌にこんな歌詞があります。

「霊峰遠く消えゆきて夕陽つる入間川」

これは、80年前前にできた校歌です。今でも市内の橋から見える景色はこの歌詞と何ら変わらないのです。すごいことだと思いませんか。変わらないものをいつまでも残していくことはとても大切です。しかし、今の狭山にとって一番の課題は、都市基盤整備だと私は思っています。
市長 では皆さん、狭山市駅西口に対する印象。現在の印象、これから望むこと、何でも結構ですので、お話しただけですか。
黒川 これから整備が進むと聞いて

います。混雑時は、とても危険を感じるので、人が集える場所に、人にやさしい駅前になってもらいたいです。
大窪 昔の物をそのまま残している「印象」があります。ロータリーには路上駐車も多々、危険を感じますね。ただ整備するならば、昔の風景も残しながら進めてほしい気がします。

横山 まさしく市の「顔」だと思いますが、やはりとても危険を感じることも多いので、安全性を重視して整備を進めてほしいと思います。

長谷川 私は駅を使っています。子どもと大人が一緒に足を運べる、また、車いすでも行ける場所が、駅にあればいいな、と思います。

荒井 私は夫を駅まで送ることがありますが、ロータリーが整備されていますが、ロータリーが整備されて

これからの狭山市は私たち一人ひとりの手で

市長 それでは最後に、これからの狭山市に皆さんが望むこと、期待することを伺います。

横山 私は、入曽駅周辺の整備をはじめとする都市基盤整備を望みます。しかし、市内に残る自然を残し、次の世代へ引き継いでほしいとも思っています。また、自治会や消防団など地域のさまざまな役割は、自営業の人への負担が大きい気がするのですが、市民が「地域への愛着」を持てるような

いないので、不便さを感じます。車の回転が良くなると嬉しいです。

市長 新狭山柏原線、東京狭山線の道路整備に続き、今年から22年までの5か年計画の西口駅前再開発。再開発とは、既存のものをすべて一新させるという大きなプロジェクトです。安心・安全が保障される駅前、中央公民館・福祉・産業・情報発信だけでなく、ホスピタリティな機能も考えられています。現在の市民の不満は、駅前に

ありません。絶対に進めなくてはならない事業だと確信しています。狭山市駅西口が終わったら、次は入曽駅です。狭山市の顔づくりは、今の狭山にとって最重要課題だと、私は考えていますので、皆さんに、ぜひ応援をしていただきたいと思っています。

施策を展開してほしいと思います。みんなが集まってこそ、まちが元気になっていくのではないのでしょうか。
市長 そうですね。市民一人ひとりが市への愛着を持つことで、元氣な狭山が実現するものと考えます。では大企業の一員として、大窪さんはいかがですか。

大窪 2年ほど前に、組合の職場委員として、身体の不自由な方や高齢者の疑似体験をしたことがあります

市長新春座談会

が、車いすでは通りにくい道などがかなりあったため、まちの中のバリアフリー化を進めてほしい気がします。私たちの企業は、地域の皆さんに存在を認めてもらえるような活動を進めています。企業として、忘れずに目指していることが、地域・市民との共存です。今は、夏祭りや硬式野球部が市民の皆さんとの接点でしようが、私たちにできることがあれば、ぜひ協力したいと思っています。

市長 なるほど。企業も市民との共存を大切にされる時代なのですね。では、家庭人の立場として、荒井さんはいかがですか。

荒井 やはり、子どもものごとを真っ先に考えてしまいますが、私は現在公立保育所を利用しています。私の職場も残業がありますし、職種によっては定時がかなり違うと思うのです。これからはますます、共働きの世帯が増えると思います。なかなか難しいのかもしれませんが、保育時間

を延長していただけるとありがたいです。また、入所できない方も多くいると聞くので、保育所の入所待ちを解消していただきたいですね。

長谷川 私は福祉に携わる立場として、今の高齢者が築いてきた狭山を子どもから私たち大人までが一緒になつて、いいまちにして行けたらいい

まちづくりは今、必要なのは「選択と集中」

市長 それでは、青年会議所で活動する黒川さんはいかがでしょう。

黒川 私はこの1月から、青年会議所の「夢あるまちづくり委員会」で、副委員長を任せられました。地方自治体は、地方分権や少子高齢化などにより、「変化」が求められる時代になっています。そんな時代だからこそ、市が抱える課題や市の将来像に対して、市民が共通認識を持たなくてはいけないと感じます。青年会議所では、地域活性フォーラム」などを企画し、参加した人たちに狭山をさまざまな角度から知ってもらい、共通の認識を持ちながら、みんなで市の課題に取り組みむことを目指しています。今は60歳を過ぎた方でも、皆さんお元気です。若い人の中にも、持つ力をどう生かしているのか分からない人もいると思います。だれでも参加できる「ミニミニティーづくり」…その

なと思います。また、高齢者の施設は閉鎖的なイメージがあるので、多くの人に来てもらえるような、地域に密着した施設に、そして自分たちからも情報を発信していけるような施設にしていきたいです。

市長 ご自分の抱負も含めて、前向きに語っていただきましたね。

環境を行政からも作ってほしいと思います。市民から狭山を変えていく、そんなまちづくりを望みます。

市長 まさに「元気な狭山をみんなでつくる」につながるありがたいご意見ですね。ところで横山さん、農業の将来像に、望むことはありますか。

横山 豊かな自然と同じように、市内の農業も残していきたいと強く思います。またこれからは、地元で育てた野菜を地元で流通させる「地産地消」を進めていけるといいですね。

市長 味も鮮度もいい地元の野菜を市民の皆さんに…ですね。それはとても素晴らしいことだと思います。

現在、市民の平均年齢は上がり、少子高齢化が進んでいます。少子化に対する施策は必須ですし、元気に学ぼうとする高齢者に場を提供し、それを地域へ還元していただくことも重要です。しかし今、最も必要なのは



仕事や家庭で忙しい毎日を送る皆さん。私も含め、自分に合ったストレス解消法は大切ですね

都市基盤整備です。市民皆さんのご理解を、ぜひお願いしたいと思っています。また、市民が自らの力で市の活性化に向けた努力ができるまち…「まち」地域の活性化」が大切です。特化できる、何かが集まるところ、市全体の活力がアップすると考えます。しかし現在は、いいと思うことすべてに取り組める、そんな時代ではありません。これからよりよいまちづくりを進めていくため、私はしっかりと説明責任を果たしていきたいと考えています。皆さんぜひ、提言をお寄せください。これからの狭山を、皆さんで支えていくことが、何より大切なことです。今日はお忙しいところ、大変ありがとうございました。

問合せ広報課へ 内線7162